

「英語で情報化社会の光と影」

情報 A 「情報機器の発達と生活の変化」

英語 II 「幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる」

1. 指導目標：社会生活の中でのネットワーク利用の利便性、新しい技術、活用の際の危険性について学習する。またその中で、英語でまとめた発表を活用して今後新しいメディアとどのような関係性を持ちうるることができるのか、マナーやモラルについても考える。

2. 対応する学習指導要領の内容：

情報 A

ア 情報機器の発達の歴史を理解する

情報機器の発達の歴史に沿って、情報機器の仕組みと特性を理解させる。

イ 情報化の進展が生活に及ぼす影響

情報化の進展が生活に及ぼす影響を身のまわりの事例などを通して認識させ、情報を生活に役立て主体的に活用しようとする心構えについて考えさせる。

ウ 情報社会への参加と情報技術の活用

個人が情報社会に参加する上でコンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に使いこなす能力が重要であること及び将来にわたって情報技術の活用能力を高めていくことが必要であることを理解させる。

英語 II

(1) 言語活動

(2) 言語活動の取扱い

言語活動を行うに当たっては、主として言語の使用場面と働きの例のうちから、目標を達成するのにふさわしい場面や働きを適宜取り上げ、有機的に組み合わせ活用する。その際、聞いたり読んだりした内容について、その要旨を書いたり、話し合ったりするなど、総合的な言語活動の場面を設けるよう配慮するものとする。

3. 評価の観点：

- ・番組の主旨を理解し、ワークシートに答える。
- ・グループ内で議論し、ウイルス・セキュリティの基本的なことを理解する。
- ・ウイルスやセキュリティに関しての英語のプレゼンテーションを作成する。
- ・自分の意見や考えをきちんと相手に伝わるように発表する。(日本語レベルも英語レベルも)

4. アイディアとその効果：

I アイディア

学校放送番組を活用したモラルの育成を学年一斉に、誰でも同じ授業ができる。

その効果

共通のワークシートと Web 配信の番組を活用して情報化社会の光と影に関わる見方や考え方を深める。

II アイディア

海外の学校の発信することにより英語への興味や関心を高める。

その効果

社会生活の中でのネットワーク利用の利便性、新しい技術、活用の際の危険性について学習する。

5. 実践の展開：

羽衣学園高校と米ニュージャージー州メモリアル・ミドルスクールの生徒たちやシンガポールのミドルスクールの生徒たちが、スクリーン映像を通じて意見を交換しあう“同時学習”を行った。遠く離れていてもすぐ隣にいるように画像を合成できる「ハイパーミラー」という遠隔対話システムを5年前から活用しての実践の継続である。今回の実践は、事前に自己紹介のビデオ撮影をして、掲示板やメールでのコメントや画像を通じての交流、その後掲示板を通じて意見交換をしあうシステムを活用した。今年度は、エコをテーマに写真に関する対話を図った。そのときに著作権のことを意識させ取り組んだ。新タイプの国際遠隔授業として更なる広がりを期待している。なお本校の中ではモラルの学習として「高校でも魅力的な「放送教育活用」と海外とも英語を使って「情報モラルの学びあい」というテーマのもと、情報科だけでなく英語科などにも協力をしてもらった。

6. 概要

I 前半ステージ 2009年5月～8月

- ① 導入：主旨説明を実施する。
- ② ウェブ検索実習：自己紹介ビデオ撮影させる。またビデオを編集する。
- ③ 機器の使い方の理解：デジタルカメラ・ビデオや掲示板などに慣れさせる。
- ④ テーマについての意見をメールや掲示板で実施する。小グループいくつかにわかれさせ発表させあう。最終的なテーマをまとめさせる。
- ⑤ グループ内意見交換：発表項目を理解させ意見をまとめさせる。まずは日本語によるまとめを書かせる。そのあと英訳させる。
- ⑥ 海外生徒（アメリカやシンガポール）との意見交換：送ったまた届いたビデオ・写真やメールに、異文化的な理解の違いが見られないか考えさせメールやホームページを利用して意見交換させる。

II 前半ステージでの情報科の授業での取り組み

「放送番組」から学ぶ：学校放送番組（NHK教育「10min. ボックス情報。」）の視聴をもとに、情報通信ネットワークを利用する上で必要となるルール・マナー・モラルについて理解を深める。番組は適宜、一時停止をして、必要に応じて通信の仕組み、電子メールの仕組み、著作権、情報通信ネットワークの仕組みに関して説明を加える。また他の有効なサイトも利用して、社会生活の中でのネットワーク利用の利便性、新しい技術、活用の際の危険性について学習する。番組に関しては、Web配信の映像や図表を活用したわかりやすい教材を視聴しながらワークシートを活用して理解を深める。

III 後半ステージ 2009年9月～10月

- ① 校内外調整：主旨を発表し当日参加生徒・見学生徒を募集する。
- ② アメリカ・シンガポール・日本側各学校で、担当教員より企画の趣旨説明をする。
- ③ いくつかのテーマでグループ分けをして掲示板などへの書き込みを実施する。
- ④ サブテーマを選び、参加生徒各個人・グループで調査・研究を実施する。教員は生徒の進め方に、質問に答えるなどして、個別指導を実施する。

11月

- ⑤ シンガポールとTV会議を実施する。
事前に発表内容をプレゼンテーションソフトなどにまとめる。文化についての理解を深めあう。またTV会議の手法に慣れる。プレゼンテーションに使う資料は著作権を意識する。
- ⑥ 振り返りを実施する（個人・グループの研究を全体で共有する）。

12月～2010年3月

- ⑦ アメリカとTV会議を実施する。文化についての理解を深めあう。具体的に意見交換をする。事前に紹介する内容をグループでまとめる。特に自分たちの地域についての発表を意識する。
- ⑧ 振り返りを実施する。（個人・グループの研究を全体で共有する）プレゼンテーションソフトにまとめる。
- ⑨ お互いの共有できるWebページでさらに交流を続ける。

IV 後半ステージでの情報科の授業での取り組み

- ① 著作権に関する学習：プレゼンテーション作成の前に著作権に関する授業を実施する。ねらいとして、「どんなものにも著作権があることを理解する。」「著作者、著作権、著作物の意味を理解する。」「著作権を守らなければならない理由と具体的に著作権を侵害している例を知る。」各自の課題として、下記4つに関してまとめる。
 - i 著作権とは何でしょう。
 - ii 著作物にはどのようなものがあるでしょう。
 - iii 著作物を自由に利用できるケースについて調べましょう。
 - iv 著作物を使用する際に許諾を得るにはどうしたらよいでしょう。
- ② プレゼンテーション作成：これまでの番組から学んだことをふまえて「著作権」というテーマからで個人またはグループで焦点をしぼって自分の意見や考えをスライド4枚程度にまとめる。
- ③ 発表：作成したプレゼンテーションファイルを共有フォルダに提出する。小グループにわかれてグループごとで自分の意見や考えを発表する。聞き手は途中質問をしても構わない。番組だけではわかりにくい細かいところもプレゼンテーションを聞くことにより具体的でわかりやすくなる。プレゼンソフトで段階的に説明することにより、理解を深めることができる。
- ④ 海外へ発信：いよいよ日本語で作成したファイルを英語に翻訳する。翻訳サイトなども活用して英語版を仕上げる。出来上がった者から順番に電子情報ボードなどを活用してリハーサルをする。電子情報ボードの機能を活用してわかりやすく発表するようにする。拡大機能で見せることにより小さなところも大きく提示することができ、はっきりする。

ポイントで、ラインマーカーや解説を書き込んだりして、わかりやすく説明やまとめをする。またそれぞれの作品について、どのような工夫を行い、いかに思考したかを発表してもらうことにより相互の学びあいを行う。まとめとして、まずは海外へ作成したファイルを送る。また実際に海外の学校とテレビ会議を実施して情報交換を実施する。

Definition
Portrait Rights is...



**Not to be shoot and
painted without asking
to save the photos or paintings
from the media or majority**



生徒プレゼンテーション作品例：肖像権について

海外との交流の様子（シンガポールとのテレビ会議）

⑤ ICT活用のポイント

- ・校内の情報科教員の連携を図り、高2全クラスでNHK教育「10min ボックス情報」をもとに指導を行う。
- ・学年全体で実施するため、共通の番組利用ワークシートを作成し、違う教員でも同じ内容で授業を実施できるようにする。
- ・新入生説明会で保護者も含めて視聴する。
- ・番組の視聴をもとに、自分の考えをプレゼンテーションソフトを使ってまとめ、発表する。
- ・相手に意見をわかりやすく伝える手段
- ・グループ発表しやすい効果的な資料の提示
- ・電子情報ボードによる効果的な発表
- ・教室の雰囲気：視線があがることによって教室の雰囲気がよくなる。
- ・TV会議ソフトを使って海外に英語で発信することにより、楽しみながら英語の学習に取り組む。

⑥ 今回の授業の効果

生徒たちは今まで、インターネットや携帯について、学校では影の部分しかあまり習ったことがなかったようだが、今回の番組を活用して影の部分以外に光の部分がたくさんあることを実感した。その上で現在の情報通信ネットワークを取り巻く危険や懸念などを知り、情報セキュリティの重要性を理解し、自ら情報を外部に発信する交流学习の基本を育むことができた（ネットワーク利用で必要となるルール・マナー・モラルを理解し、交流活動に活用するネットワークリテラシーも育むことができた）。また、英語学習を取り入れたことにより教科の壁を越えた生徒たちが多く見受けられた。今回忘れてはならないポイントとして、ある程度どんな教員でも同じ授業をできるように教員のスキルアップもできた。もちろん大学の学生や外部の講師との交わりの中から、生徒も教員も情報活用の実践力を高めることができた。

(参考 アメリカのニュージャージー州のメモリアルミドルスクールとのページ)

<http://www.japanusa-teentalk.net/mytownclips2010/>

自己紹介からプレゼンテーション他を ID と PW を与えて自由に閲覧や書き込みができるようにしている。

—アメリカのニュージャージー州のメモリアルミドルスクールとの実施内容—

Japan USA - Teen Talk
Hagoromo School & Memorial School Students
2009-2010 Schedule Of Events

September 2009: Sharing Our Summer Vacations- (What did you do?) (Where did you go?) (Why was it fun?)
October 2009:
Sharing After School Activities –(Photos...with titles) What do you like to do? (sports, dance, music, etc.)
Sharing Halloween Activities
November 2009: Sharing Pets
(What pet you have or wish you had?) (What is you pet's name or what would you name a pet?)
Sharing Thanksgiving Activities
December 2009: Sharing Christmas-New Year Activities
What places do you like to go to in your town? (mall; pizza restaurant, etc.)
What special places are in your town (Osaka Castle; ferriswheel in Japan mall; Fort Monmouth, Eatontown candy factory, etc.)

2009-2010 Formats For Sharing Information
JapanUSA-TeenTalk Moodle Site

Digital Storytelling: Photos; brief descriptions of people, places, or things
PowerPoints: Photo Essays – dynamic photos Words or Phrases – no sentences
Export as: images (jpegs)
Videokonferences: Students ask questions about their photo essays

2009-2010 Formats For Teaching
Digital Storytelling

Look at vacation photos:

- Why interesting? • Why not interesting? • Think of descriptive words to title photos!

Discuss how to post photos & titles for photos to Our Site:

- Go online & sign in with name/password: <http://www.japanusa-teentalk.net/oursite>

Discuss PowerPoint Guidelines:

- Topic & Name on slide #1
- Photo essay slideshow = 2 - 4 slides
- Interesting photos
- Words or Phrases – no sentences
- Export as: images (jpeg)